

MG13D, MG17D/A, MG12D,
MG13DN, MG12DN

1

番目に読む本

パソコンの準備

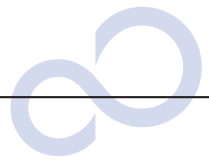
パソコンの電源を入れる前にお読みください。
接続方法や、必要な準備について説明します。

- 1 各部名称
- 2 始める前に
- 3 パソコンを準備する
- 4 接続/設定する
- 5 仕様



マニュアルの読み方

～知りたいことを調べるには～



本で調べる



『パソコンの準備』

パソコンの接続やWindowsのセットアップなど、パソコンを使い始める前に必要な準備について書かれています。



『使いはじめガイド』

FMVを使うための基礎知識やユーザー登録の方法、インターネットやEメールの始め方などがわかります。



『トラブル解決ガイド』

画面が表示されないなど、サービスアシスタントでは調べられないトラブルの原因・対処がわかります。



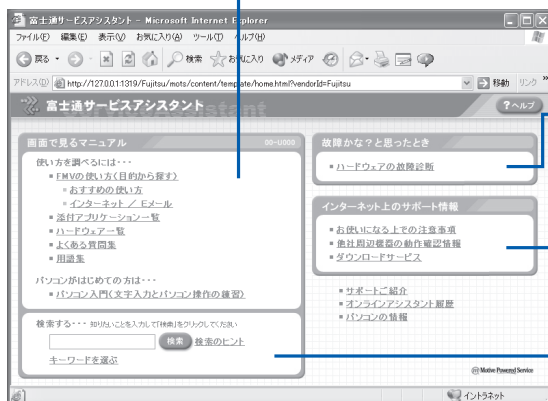
『基本操作クイックシート』

パソコンの基本的な操作方法がまとめてある早見表です。お手元に置いてご覧ください。

画面で調べる



「サービスアシスタント」



画面で見るマニュアル

▶詳しくは『使いはじめガイド』をご覧ください。パソコン入門やアプリケーションの使い方、周辺機器の取り付け方などが調べられます。

故障かな？と思ったとき

「ハードウェアの故障診断」をクリックすると、故障かどうかのチェックが行われ、解決のためのアドバイスが表示されます。

インターネット上のサポート情報

項目をクリックするとインターネットに接続し、各サポート情報が表示されます。

検索

知りたいことがどこに載っているかわからない、というときはここで検索しましょう。用意されたキーワードを利用することもできます。

●起動方法

DESKPOWERの場合

キーボードの「サポート」
(または「Support」)
ボタンを押す

BIBLOの場合(LOOX除く)

ワンタッチボタンの「A」ボタンを押す
(機種によってはモードの切り替えが必要)

BIBLO LOOX、STYLISTICの場合

画面にある  をクリック

※「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリックしても起動できます。

『パソコンの準備』の内容

必ずお読みください

まず機種名や添付品の確認をします

第2章 パソコンを使い始める前に (●▶P.17)



電源を入れてパソコンを使う準備をします

第3章 電源を入れてパソコンの準備をする

1 初めて電源を入れる (●▶P.24)

目的に合わせてお読みください

■メモリなどの周辺機器を取り付けたい (●▶P.56)

■仕様を確認したい (●▶P.64)

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本マニュアルを熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルおよび『安全上のご注意』は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複製して、保管しておいてください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年間です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

- 本ソフトウェアの使用および著作権**
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
- バックアップ**
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
- 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み**
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
- 複製**
 - 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
 - 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないで行ってください。
- 第三者への譲渡**
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
- 改造等**
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- 壁紙の使用条件**
お客様は、「FMV」ロゴ入りの壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
- 保証の範囲**
 - 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
 - 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知られていた場合も同様とします。
 - 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
- ハイセイフティ**
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
記
原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（<http://www.microsoft.com/japan/>）。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがって、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。

ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスパックの Readme.txt を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 ・ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A」ボタンを押す ・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリック
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

正式名称	このマニュアルでの表記	
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition	Windows
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional	
Microsoft® Office XP Personal	Office XP Personal	
情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律	省エネ法	
DVD マルチドライブ、CD-RW/DVD-ROM ドライブ	CD/DVD ドライブ	
富士通サービスアシスタント V2.1	サービスアシスタント	
Norton Internet Security™ 2003	Norton Internet Security	

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
インテル、Intel、Pentium および Celeron は、米国インテル社の登録商標です。
Motive のロゴ、Motive Communications, Inc., ServiceNet Platform および Motive の他の製品名あるいは技術用語は Motive Communications, Inc. の商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。

データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM など大切に保管してください

これらのディスクは、本製品に入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- ・液晶ディスプレイは非常に高度な技術で作られておりますが、画面上の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。
- ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。

なお、低輝度で長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になることがあります。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品には、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスクなど）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。

本製品の使用環境は、温度 5 ～ 35℃ / 湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60℃ / 湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

ワイヤレス LAN 搭載モデル（IEEE802.11b 準拠）の場合

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
- 連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

ワイヤレス LAN 搭載モデル（IEEE802.11a 準拠）の場合

本製品と IEEE802.11a 準拠の機器とは、使用している周波数帯域が異なるため、通信できません。ご注意ください。

パソコン本体と通信相手の機器との推奨通信距離は、屋内 25m です。周囲の環境（壁や家具などの影響）、建物の構造によっては、通信可能距離が短くなる場合があります。特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、通信できないことがあります。

本製品にテレビを接続する場合は、適度な明るさの部屋で、できるだけテレビ画面から離れてご覧ください。

ごくまれに強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおります。こうした症状を経験したことがある方は、テレビ画面をご覧になる前に、必ず医師にご相談ください。また、テレビ画面を見ている途中でこのような症状が起きた場合は、すぐに中止して医師の診断を受けてください。

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定める高調波ガイドラインの適用対象外です。

当社は、国際エネルギー省プログラムに参加事業者として本製品が国際エネルギー省プログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



本製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992-1999 年ドルビーラボラトリーズインコーポレーティド。不許複製。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含まれています。



目次

このマニュアルの表記について	3
----------------------	---

第1章 各部名称

1 パソコン本体前面	10
2 パソコン本体上面	11
3 パソコン本体側面	12
パソコン本体左側面	12
パソコン本体右側面	12
4 パソコン本体背面	13
5 パソコン本体下面	14
6 状態表示 LCD	15
7 ワンタッチボタン	16

第2章 パソコンを使い始める前に

1 確認してください	18
機種名を確認してください	18
添付品がすべて揃っているか確認してください	18
2 使用上のお願い	19
パソコン本体取り扱い上の注意	19
放熱について	19
パソコンを持ち運ぶときは	20
使用および設置に適さない場所	20
3 必要なものを揃える	21

第3章 電源を入れてパソコンの準備をする

1 初めて電源を入れる	24
AC アダプタを接続する	24
初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ	26
2 電源の切り方と入れ方	47
電源を切る	47
電源を入れる	51
3 準備が完了したら	53
パソコンの準備はすべて完了していますか？	53
パソコンの準備が完了したら『使いはじめガイド』へ	54

第4章 目的に合わせて接続／設定する

1 周辺機器（メモリなど）を取り付ける	56
取り扱い上の注意	56
「FMV の使い方」をご覧ください	57
2 モジュラーケーブルを接続する	59

第5章 付 録

1 仕様一覧	64
パソコン本体	64
仕様一覧の※印について	68
索引	69

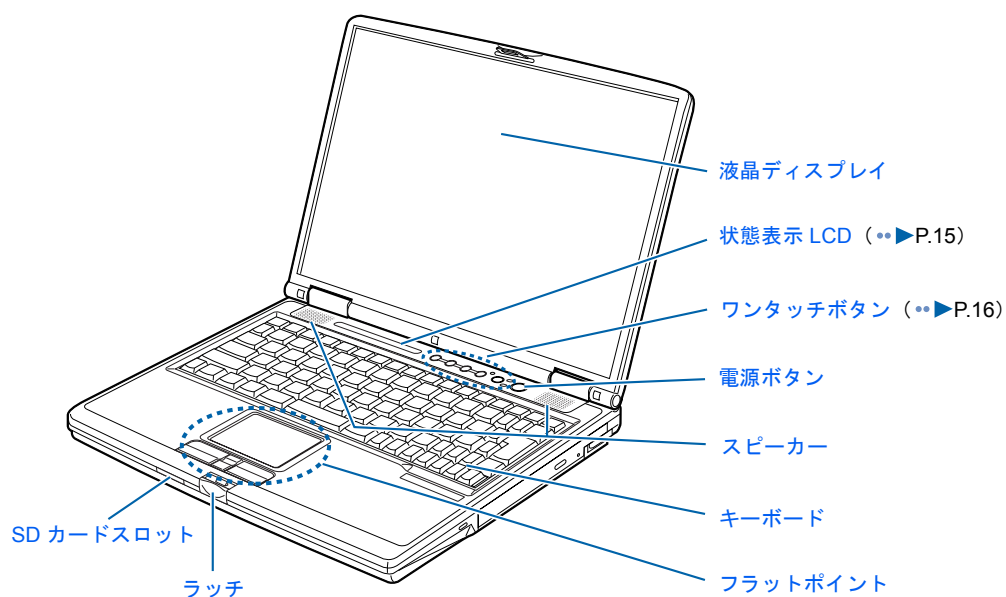
1

第 1 章 各部名称

パソコンの各部の名称について説明しています。

1	パソコン本体前面	10
2	パソコン本体上面	11
3	パソコン本体側面	12
4	パソコン本体背面	13
5	パソコン本体下面	14
6	状態表示 LCD	15
7	ワンタッチボタン	16

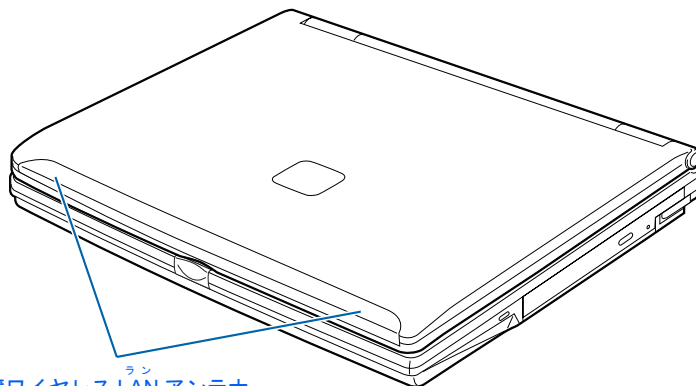
1 パソコン本体前面



詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMVの使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (**▶P.26 ～ P.46) が終了してからご利用ください。

2 パソコン本体上面

機種名の調べ方は「機種名を確認してください」(●▶P.18)をご覧ください。



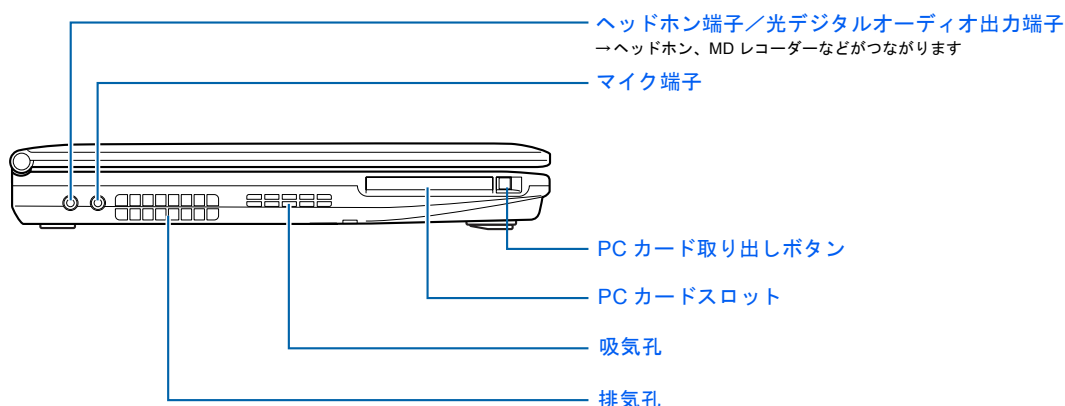
内蔵ワイヤレス LAN アンテナ
(MG13D, MG17D/A, MG13DN のみ)

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体上面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (●▶P.26 ～ P.46) が終了してからご利用ください。

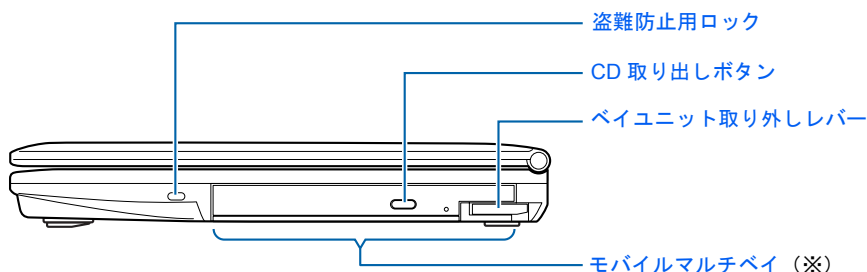
3 パソコン本体側面

機種名の調べ方は「機種名を確認してください」(●▶P.18)をご覧ください。

パソコン本体左側面



パソコン本体右側面



※イラストは機種や状況により異なります。

MG13D をお使いの方は、内蔵 DVD マルチドライブになります。

MG17D/A, MG12D, MG12DN をお使いの方は、内蔵 CD-RW/DVD-ROM ドライブになります。

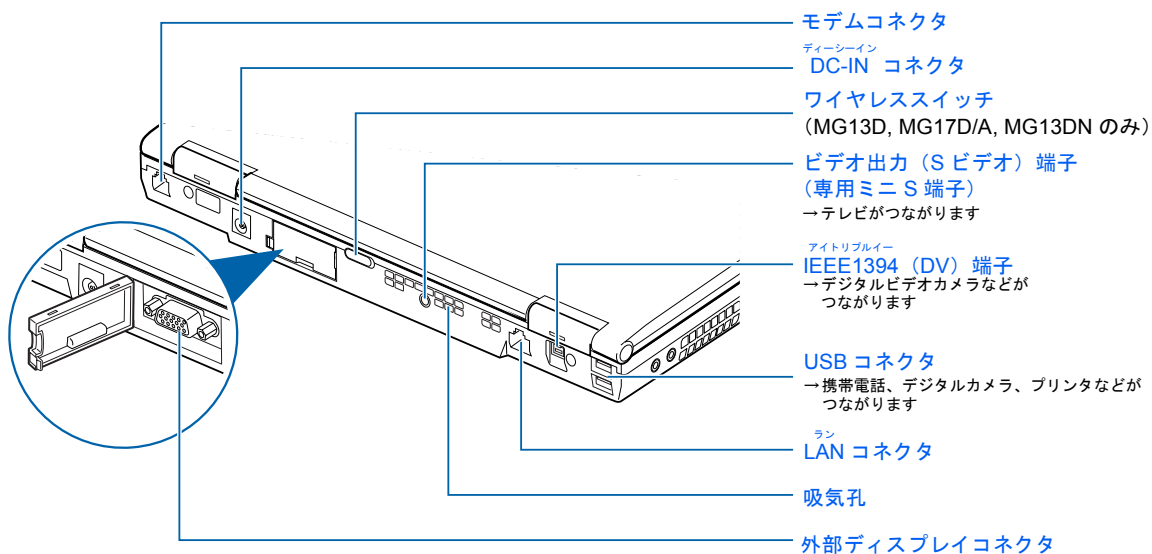
MG13DN をお使いの方は、選択したドライブにより、次のいずれかになります。

- ・DVD マルチドライブ
- ・CD-RW/DVD-ROM ドライブ

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (●▶P.26 ~ P.46) が終了してからご利用ください。

4 パソコン本体背面

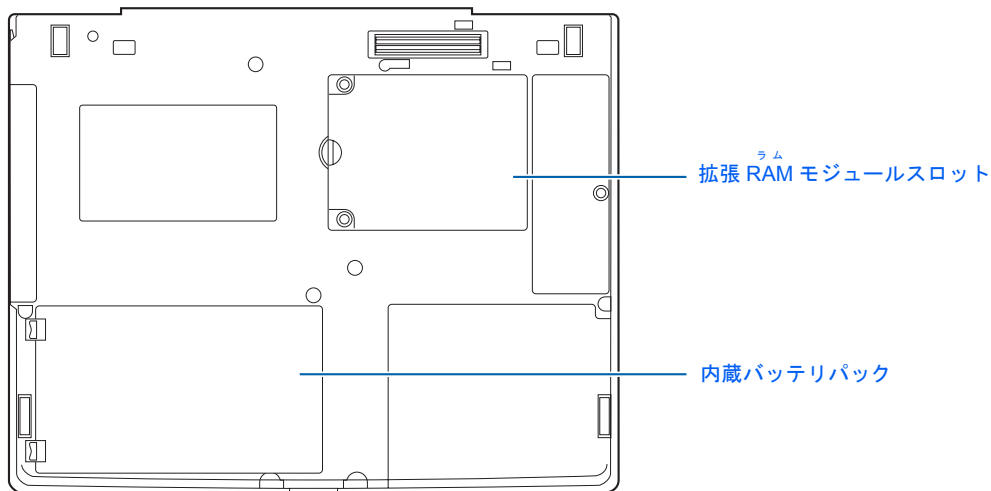
1



(イラストは機種や状況により異なります)

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMVの使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (▶▶P.26 ~ P.46) が終了してからご利用ください。

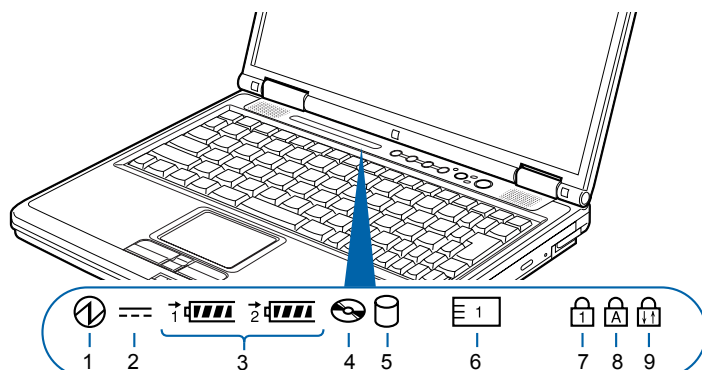
5 パソコン本体下面



詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体下面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (▶P.26 ～ P.46) が終了してからご利用ください。

6 状態表示 LCD

1

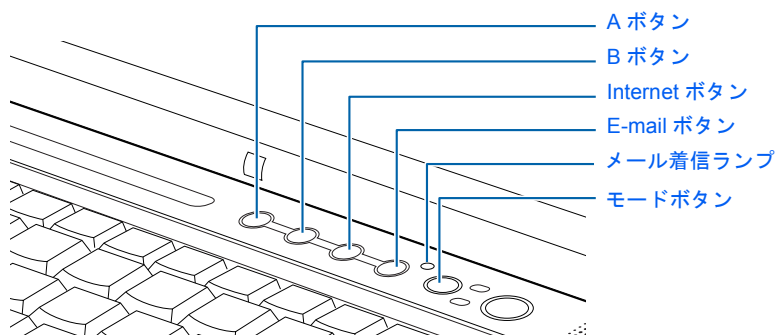


(イラストは機種や状況により異なります)

- | | |
|--|---|
| <small>サスレス</small>
1 SUS/RES 表示 (①) | 6 PC カードアクセス表示 () |
| 2 AC アダプタ表示 () | <small>ニューメリカルロック</small>
7 Num Lock 表示 () |
| 3 ・バッテリー装着表示 (、) | <small>キャップスロック</small>
8 Caps Lock 表示 () |
| ・バッテリー充電表示 () | <small>スクロールロック</small>
9 Scroll Lock 表示 () |
| ・バッテリー残量表示 () | |
| 4 CD アクセス表示 () | |
| 5 ハードディスクアクセス表示 () | |

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：状態表示 LCD」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (▶P.26 ～ P.46) が終了してからご利用ください。

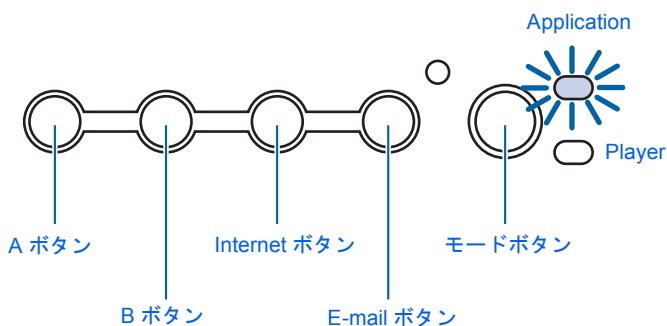
7 ワンタッチボタン



ワンタッチボタンの機能は、モードの状態によって次のように切り替わります。

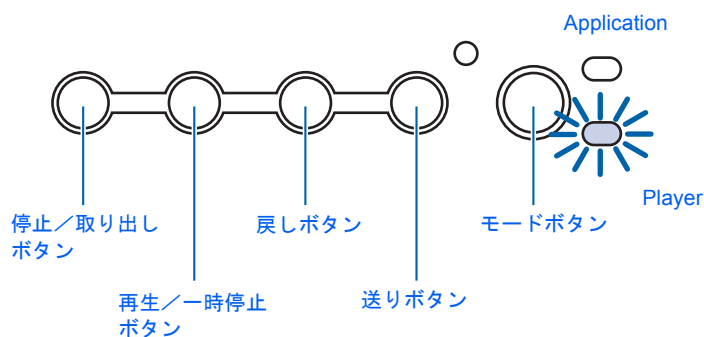
アプリケーション

■ Application が点灯しているとき（「Application」モード）



プレーヤー

■ Player が点灯しているとき（「Player」モード）



詳しくは、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMVの使い方」→「基本機能」→「ワンタッチボタンを使う」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ（▶P.26 ～ P.46）が終了してからご利用ください。

2

第 2 章

パソコンを使い始める前に

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

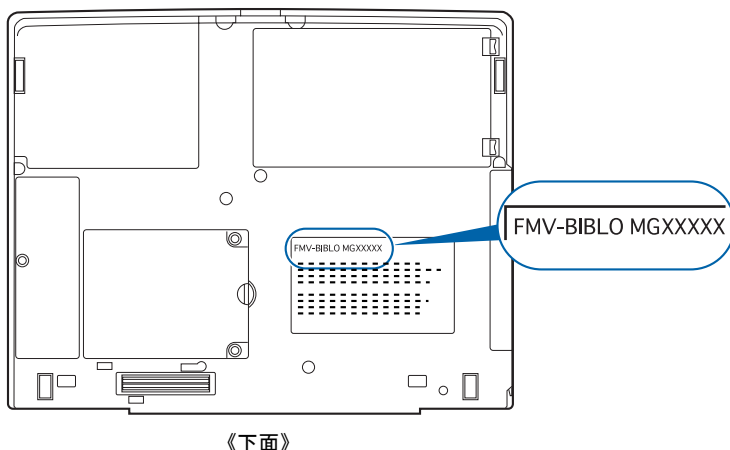
1 確認してください	18
2 使用上のお願い	19
3 必要なものを揃える	21

1 確認してください

最初に確認していただきたいことを説明します。

機種名を確認してください

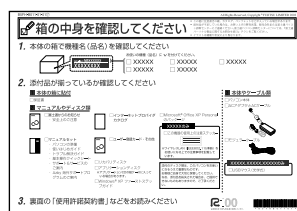
お使いの機種によって、マニュアルを読む箇所が異なります。お使いのパソコンの機種名（品名）を確認しましょう。



添付品がすべて揃っているか確認してください

『箱の中身を確認してください』をご覧になり、添付品をもう一度ご確認ください。

もし足りない部品などがあった場合は、できるだけ早く、ご購入元または富士通パソコン診断センターにご連絡ください。富士通パソコン診断センターについては、『富士通からのお知らせ』冊子の裏面をご覧ください。



（機種により若干異なります）

2 使用上のお願い

誤動作や故障を防ぐため、以下のことにご注意ください。

2

パソコン本体取り扱い上の注意

- ・衝撃や振動を与えないでください。
- ・分解しないでください。
- ・電源を入れたまま（スタンバイ中を含む）の状態で持ち運ばないでください。
- ・長時間使用すると、パソコン表面の温度が上昇して、温かく感じる場合があります。これは、パソコン内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するので、キーボードなどの表面も温くなるためです。故障ではありません。
- ・ひざの上など直接肌に触れた状態では、長時間使用しないでください。使用条件によっては、パソコンの底面が高温になる場合があります。
- ・吸気孔（●▶P.12、P.13）、排気孔（●▶P.12）はふさがないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- ・排気孔（●▶P.12）の近くに物を置かないでください。排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれた物が熱くなることがあります。
- ・磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものを近付けないでください。保存しているデータが消えてしまう恐れがあります。
- ・ワイヤレス LAN 機能を搭載している機種の場合
ワイヤレス LAN 機器が発信する電波は、携帯電話の電波と同じように電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では、ワイヤレス LAN 機能を停止してください。
病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知器の近く／その他、使用規制のある場所など

放熱について

- ・電源が入っているときは、キーボードの上に書類などのおおいかぶさる物を置かないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因になります。
- ・電源が入っているときに液晶ディスプレイを閉じてもスタンバイしない設定にした場合は、パソコンの液晶ディスプレイを閉じないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因となります（ご購入時の設定では、電源が入っているときに閉じてもかまいません）。

パソコンを持ち運ぶときは

パソコンを持ち運ぶ場合は、次のようにしてください。

- ・パソコンの電源を切ってください。
- ・接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。接続したまま持ち運ぶとケーブルや本体のコネクタを破損する恐れがあります。
- ・液晶ディスプレイを閉じてください。

使用および設置に適さない場所

- ・極端に高温または低温になる場所
- ・結露する場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・衝撃や振動の加わる場所
- ・磁石や磁気ブレスレットなど磁気を発生するものの近く
- ・ほこりの多い場所
- ・水など液体のかかる場所
- ・湿度の高い場所

POINT

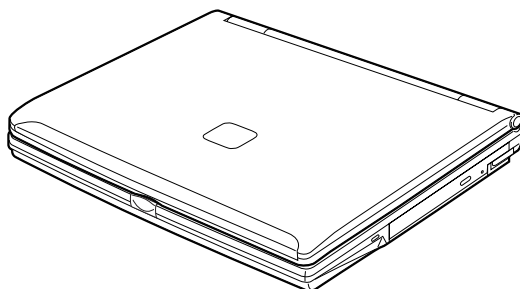
- ・本製品の使用環境は、温度 5 ～ 35 °C／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 °C／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です。
- ・結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動した時に起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。

3 必要なものを揃える

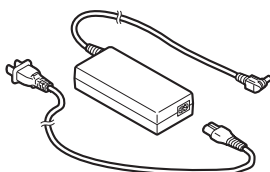
必要なものをあらかじめ揃えてから、第3章へ進みましょう。

2

■パソコン本体



■ACアダプタとACケーブル



■保証書



梱包箱に貼り付けられています。

続いて、電源を入れてパソコンの準備をしましょう（●▶P.24）。

3

第 3 章

電源を入れてパソコンの準備をする

初めてパソコンの電源を入れるとき最初に行う準備について説明しています。このマニュアルの手順どおりに進めてください。

1	初めて電源を入れる	24
2	電源の切り方と入れ方	47
3	準備が完了したら	53

1 初めて電源を入れる

AC アダプタを接続する

AC アダプタは、差し込み口の形状をよく確認して、奥までしっかりと差し込んでください。



警告



感 電

- ・ 近くで雷が起きたときは、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、パソコンを破壊し、火災の原因となります。



注意



故 障

- ・ AC アダプタは正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体が故障する原因となることがあります。

重 要

セットアップ前には周辺機器は接続しないでください

プリンタやターミナルアダプタ (TA)、LAN ケーブルなどの周辺機器が接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作 (Windows のセットアップ) の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、周辺機器のマニュアルをご覧になり、接続してください。LAN ケーブルの接続方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「FMV の使い方」 → 「周辺機器」 → 「LAN を使う」をご覧ください。



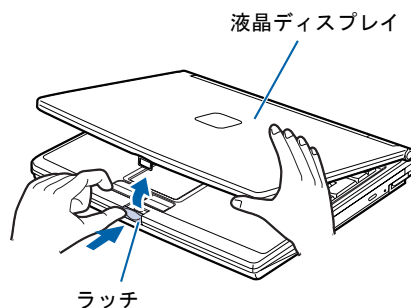
POINT

AC アダプタは熱くなる場合があります

パソコンの使用中は、AC アダプタが熱くなることがありますが、異常ではありません。

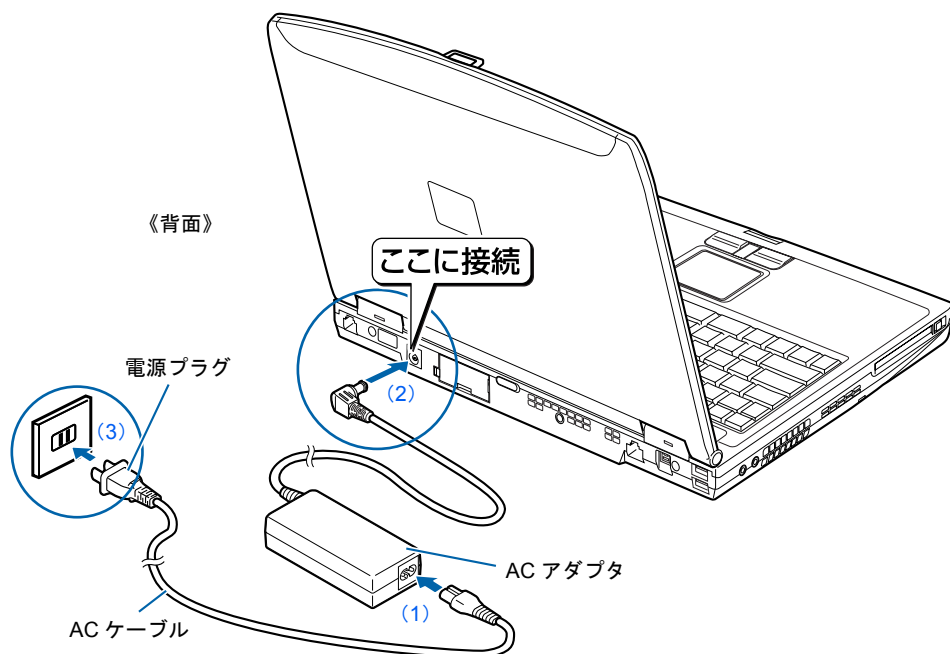
1 液晶ディスプレイを開きます。

ラッチを押してロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。



2 AC アダプタを取り付けます。

AC アダプタに AC ケーブルを接続し (1)、パソコン本体の DC-IN コネクタに接続します (2)。その後、電源プラグをコンセントに接続します (3)。正しく接続すると、状態表示 LCD に  が表示されます。



初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ

初めて電源を入れるときは、**Windows のセットアップ**という作業が必要です。Windows のセットアップとは、初めてパソコンの電源を入れるときに、1 回だけ行う操作です。このマニュアルの手順どおりに進めてください。この Windows のセットアップが終わらないと、パソコンは使えるようになりません。

セットアップ時の注意事項

セットアップが終わるまで電源を切らないでください

Windows のセットアップの途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。セットアップの最後の手順が終わるまでは、電源を切らないでください。もし電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『トラブル解決ガイド』→「電源が入らない、画面が表示できないトラブル」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」をご覧ください。

しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 10 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

フラットポイントの操作面に触れたり、キーボードの     や **[Shift]** のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。それでも戻らない場合は、電源ボタン（▶P.10）を押してください（4 秒以上押し続けしないでください。パソコンの電源が切れてしまいます）。

Windows のセットアップを始めましょう。

「Windows のセットアップ」とは、次の 4 つの作業のことです。合計 38 手順あります。

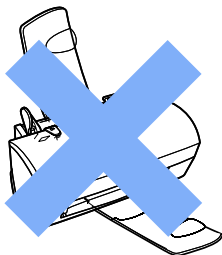
- 1 「Windows の設定」▶手順 1 ～ 12
- 2 「必ず実行してください」の実行▶手順 13 ～ 21
- 3 「サービスアシスタントの起動・終了方法」▶手順 22 ～ 26
- 4 「所在地情報の設定」▶手順 27 ～ 38

ページの右端にセットアップの進行状況を示していますので参考にしてください。

Windows の設定

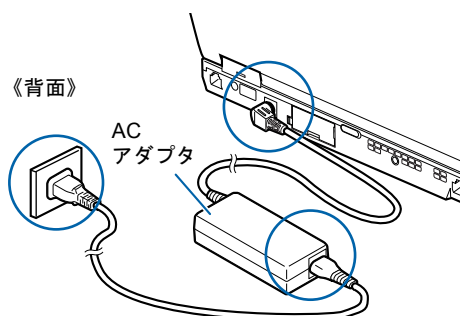
1 AC アダプタ以外に何も接続されていないことを、確認します。

このマニュアルで説明していない添付品や、その他の機器が接続されていると、セットアップの途中でパソコンが動かなくなることがあります。



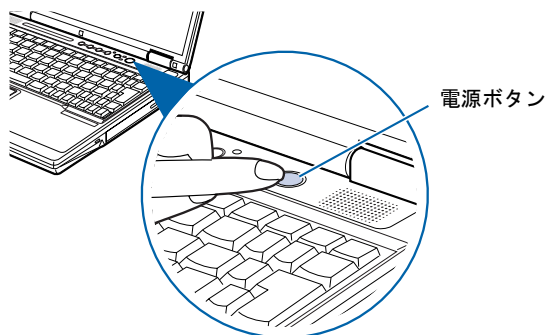
2 ACアダプタがきちんと接続されているか、確認します。

念のため、ACアダプタをもう一度お確かめください。



3 電源を入れます。

電源ボタンを押します。



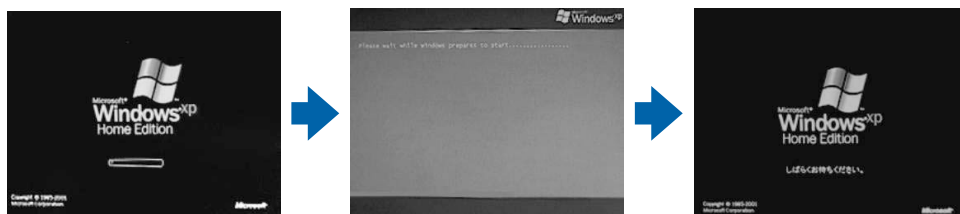
重要

電源ボタンは4秒以上押さないでください

電源ボタンを4秒以上押し続けると、パソコンの電源が切れてしまいます。

4 そのまましばらくお待ちください。

電源を入れると、次のような画面が表示されます。



※画面は Windows XP Home Edition のものです。Windows XP Professional の場合は、一部表示が異なります。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。

手順 5 の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。

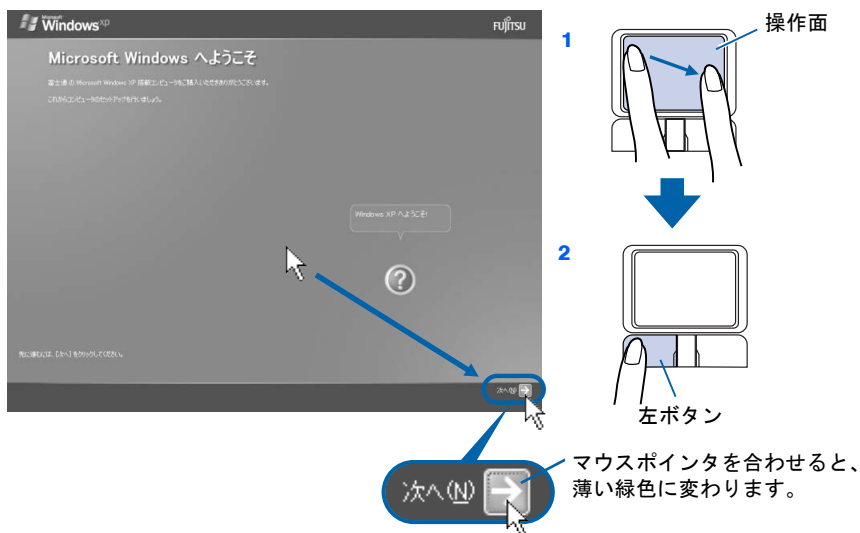
途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。

もし電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『トラブル解決ガイド』→「電源が入らない、画面が表示できないトラブル」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」をご覧ください。

5 1 画面上の を「次へ」の右の に合わせ、2 フラットポイントの左ボタンを軽くカチッと 1 回押して、すぐ離します。

指先で、フラットポイントの操作面をなぞると、指の動きに合わせて、 (マウスポインタ) が画面の上を動きます。

2 の操作のことを、「クリック」といいます。



POINT

これ以降は機種により画面が異なる場合があります

このマニュアルと違う画面が表示された場合は、画面の指示に従い、手順 12 まで進めてください。

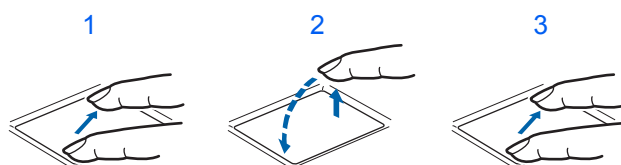
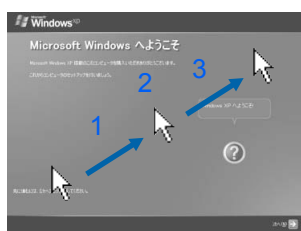
キーボードやフラットポイントで操作できない場合

キーボードやフラットポイントが効かなくなった場合は、「使用上のお願い」(●▶P.19)をご覧ください。それでも操作できない場合は、次の手順に従ってパソコンの電源を入れ直してください。

1. 本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切ります。
2. 10 秒以上たってから、電源ボタンを押して電源を入れます。

指が操作面の端まできたら

いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインタは動きません。



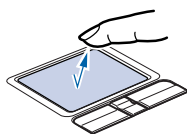
指を離している間はマウス
ポインタは動きません。

ボタンは軽く押すだけで OK!

フラットポイントのボタンは力を入れて押す必要はありません。カチッと 1 回押したら、すぐ指を離すようにします。

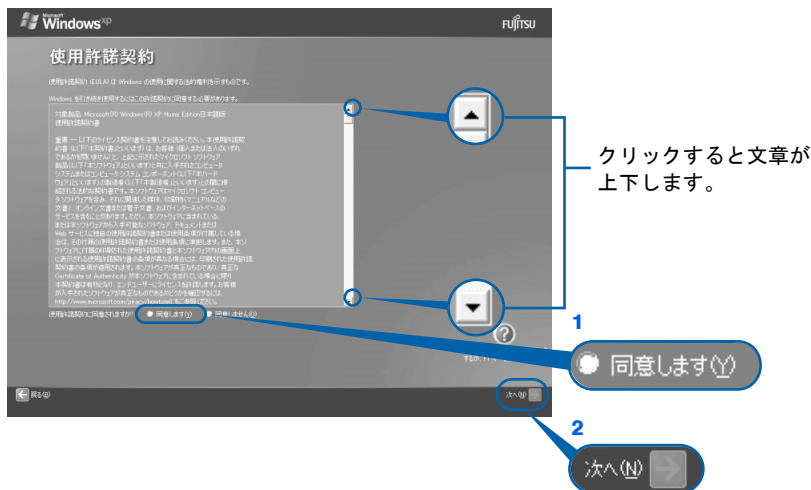
操作面を軽くたたいても、クリックになります

フラットポイントは、操作面を軽くたたいてもクリックができます。操作面に指をのせるときに、間違ってクリックしないように注意してください。

**うまくクリックできない場合**

なるべくボタンの中央部分を押すようにしてください。また、ボタンを押すときや離すときに、マウスの位置がずれないように、気を付けてください。

- 6** **1 Windows** の使用許諾契約書の内容をご覧になり、ご同意いただけるときは「同意します」をクリックして  にし、**2** 「次へ」の右の  をクリックします。



次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

重要

「同意しません」をクリックした場合

「続ける前に…」という画面が表示されます。使用許諾契約書にご同意いただけないと、このパソコンはお使いになれません。

手順 6 の画面に戻るには、表示された画面で「戻る」の左の  をクリックしてください。

- 7** 「次へ」の右の  をクリックします。

ここでは何も入力しません。コンピュータの名前は後から入力できます。詳しくは、Windows のヘルプを「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。



次の画面が表示されるまでお待ちください。

手順 8、9 の画面は Windows XP Professional の場合のみ表示されます。Windows XP Home Edition の場合は表示されないで、手順 10 へ進んでください。

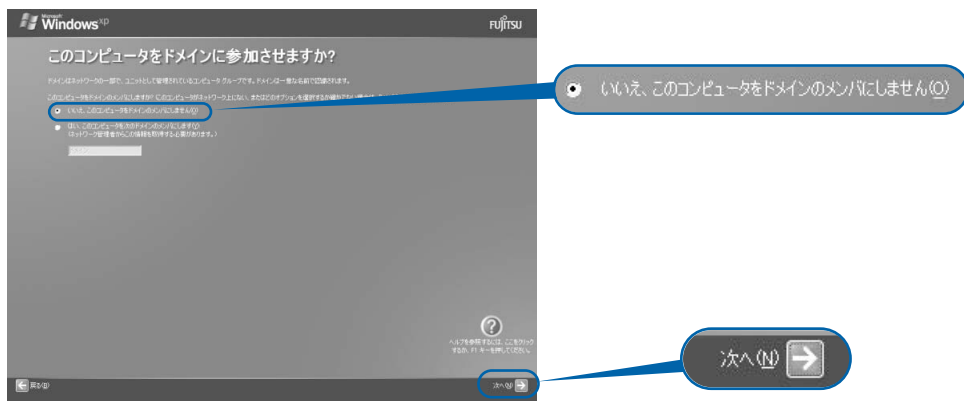
8 「次へ」の右の➡をクリックします。

ここでは何も入力しません。管理者パスワードは後から設定できます。詳しくは、Windows のヘルプを「パスワード」で検索し、「ユーザーのパスワードを変更する」をご覧ください。



9 「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバーにしません」の左が☑になっていることを確認し、「次へ」の右の➡をクリックします。

ドメインの設定は後から行えます。詳しくは Windows のヘルプを「ドメイン」で検索し、「ドメインに参加する」をご覧ください。



10 「次へ」の右の➡をクリックします。



POINT

こんな画面が出た！

「インターネットに接続する方法を指定してください」という画面が表示された場合は、「省略」の右の➡をクリックします。

インターネット接続の設定は、セットアップが最後まで終わってから、『使いはじめガイド』→「パソコンで通信をする準備」をご覧ください。

11 1「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして⊙にし、2「次へ」の右の➡をクリックします。



POINT

「はい、今すぐユーザー登録します」を選択して進んでしまった場合

「ユーザー登録情報を入力してください」という画面で「戻る」の左の←をクリックして、手順 11 からやり直します。

「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」という画面が表示された場合

「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックして⊙にし、「次へ」の右の➡をクリックします。

12 「完了」の右の➡をクリックします。

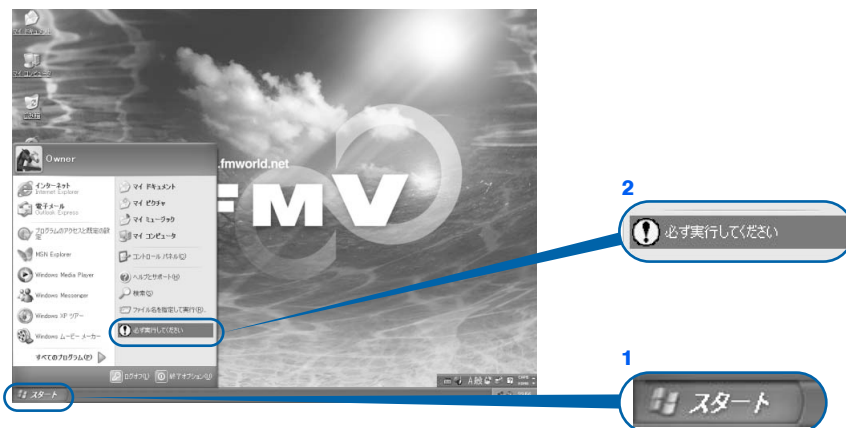


次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

「必ず実行してください」の実行

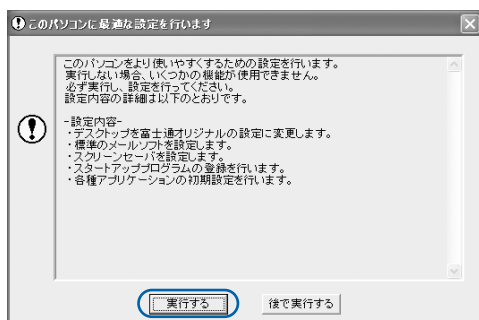
13 1「スタート」ボタン→2 必ず実行してください の順にクリックします。

必ず実行してください は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。以降の手順は最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

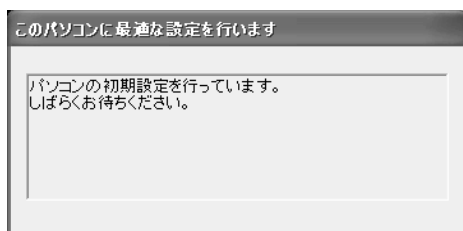


(これ以降の画面は状況により異なります)

14 「実行する」をクリックします。

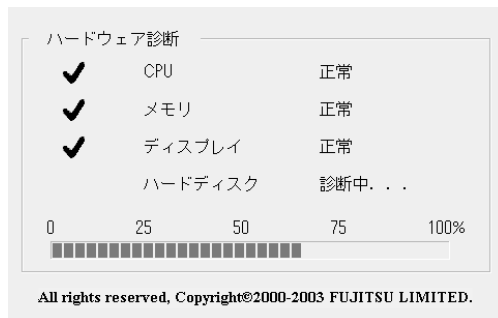


パソコンの初期設定が始まり、次の画面が表示されます。手順 15 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。



15 ハードウェア診断が始まり、次の画面が表示されます。手順 16 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

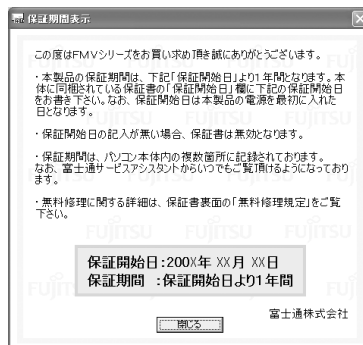
途中、ディスプレイを診断する画面なども表示されます。



重要

ハードウェア不良の画面が表示された場合
画面の指示に従ってください。

16 この画面が表示されたら、保証書を用意します。



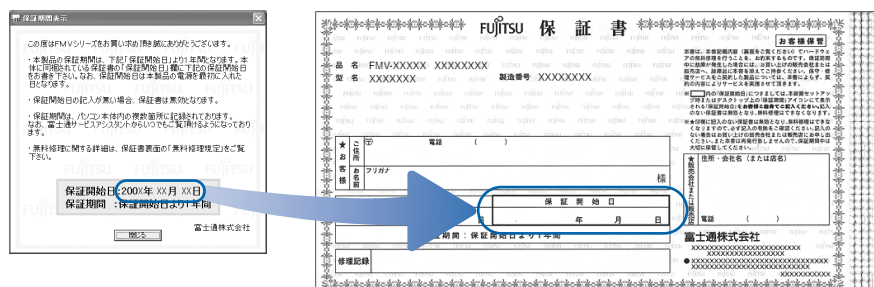
保証書は梱包箱に貼り付けられています。



17 画面に表示された保証開始日を、保証書に書き写します。

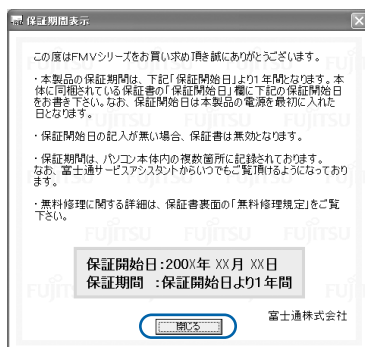
保証書に保証開始日が記入されていないと、**保証期間内であっても有償**での修理となります（なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります）。

保証書は大切に保管してください。



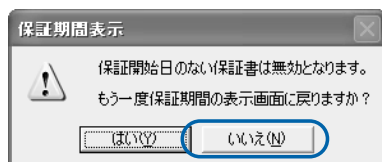
電源を切らずに次のページへ

18 「閉じる」をクリックします。

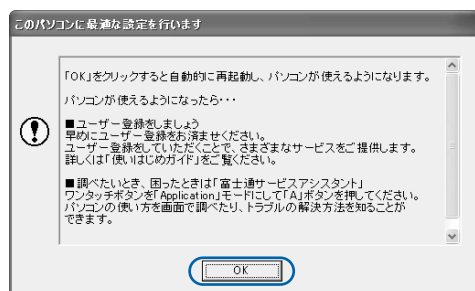


19 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。

もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。



20 「OK」をクリックします。

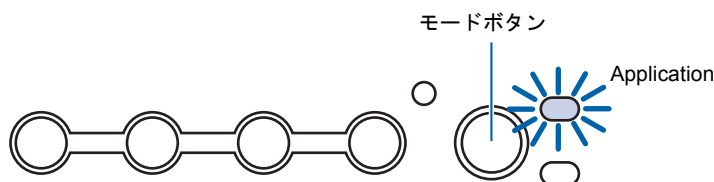


画面がいったん暗くなり、パソコンの再起動が始まります。
次の画面が表示されるまで少し時間がかかることがあります、そのままお待ちください。

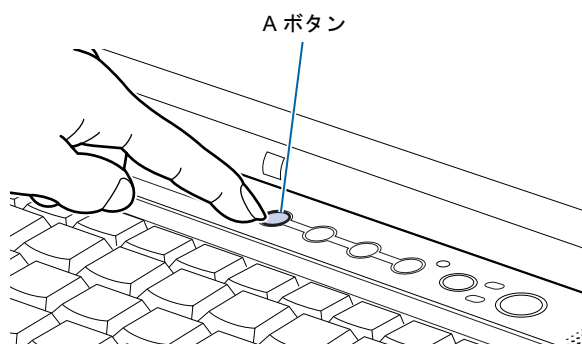
サービスアシスタントの起動・終了方法

サービスアシスタントは、パソコンの操作でわからないことがあったとき、困ったときにご覧ください。ここでは、サービスアシスタントを一度起動・終了してみます。

22 モードボタンを何回か押して Application のランプを点灯させ、「Application」モード（▶P.16）にします。



23 ワンタッチボタンの「A」ボタンを押します。

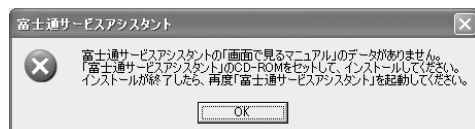


POINT

「画面で見るマニュアル」のデータがありません」というメッセージが表示されたときは

「画面で見るマニュアル」を添付ディスク②「富士通サービスアシスタント」からインストールしてください。

②「富士通サービスアシスタント」をセットすると、自動的にインストールが始まります。メッセージに従って、インストールしてください。

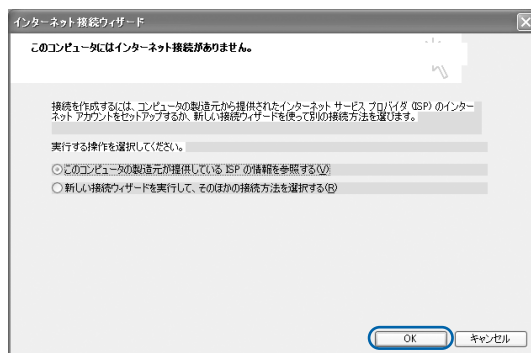


機種を選択する画面が表示されたときは

別紙などで特に指示がない限り、お使いの機種名（品名）を選んでください。機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（▶P.18）をご覧ください。

24 次の画面が表示されたら、「OK」をクリックします。

インターネット接続の設定は後で行います。ここではインターネットに接続しません。



POINT

最新のサポート情報をインターネットでご案内しています

サービスアシスタントには、インターネットを使って最新のサポート情報を表示する機能があります。この機能はインターネット接続の設定を行うと利用できるようになります。セットアップが最後まで終わってから、『使いはじめガイド』→「パソコンで通信をする準備」をご覧になり、設定してください。

@nifty を紹介する画面が表示されます。@nifty に入会したい方は、『使いはじめガイド』をご覧になり、後で入会手続きを行ってください。

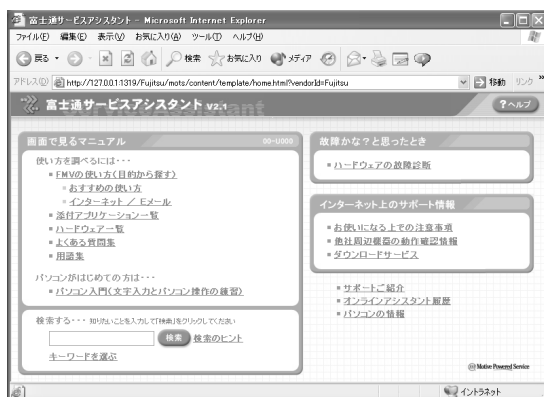


25 ウィンドウの右上にある をクリックします。



電源を切らずに次のページへ

サービスアシスタントが起動します。



これがサービスアシスタントのトップ画面です。「ヘルプ」をクリックすると詳しい使い方がわかります。

26 続けてセットアップを行うので、サービスアシスタントのトップ画面で をクリックし、サービスアシスタントを終了します。



POINT

この後、続けて操作を行ってください

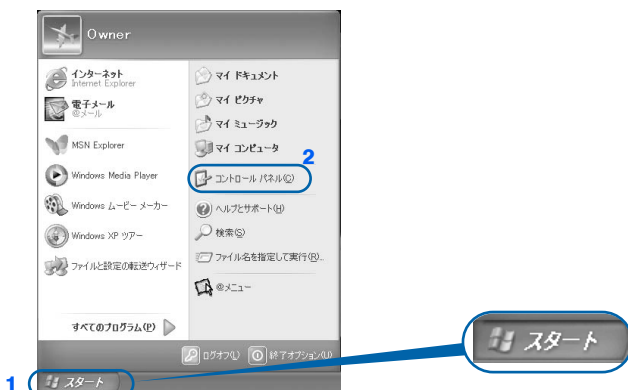
この後の所在地情報の設定は、インターネットに接続するときなどに必要になります。このまま手順を最後まで続けてください。

これ以降サービスアシスタントを起動するには

「Application」モードに切り替えた後、「A」ボタンを押してください。手順 24 ～ 25 の画面は、サービスアシスタントを初めて起動したときだけ表示されます。

所在地情報の設定

27 1「スタート」ボタン→2「コントロールパネル」の順にクリックします。



(これ以降の画面は、機種や状況により異なります)

28 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。

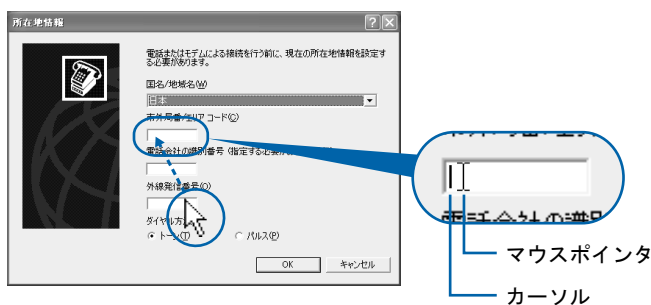


29 「電話とモデムのオプション」をクリックします。

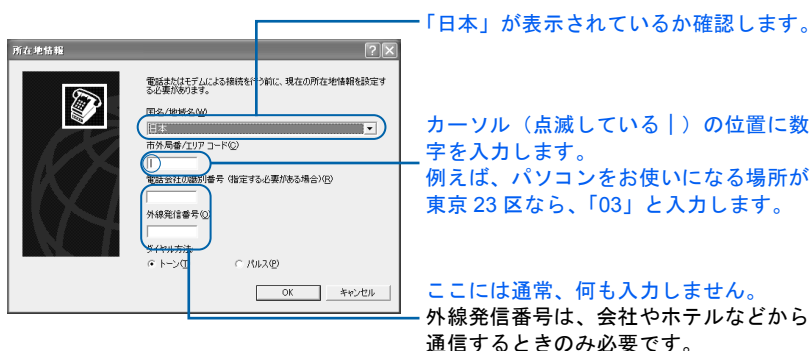


電源を切らずに次のページへ

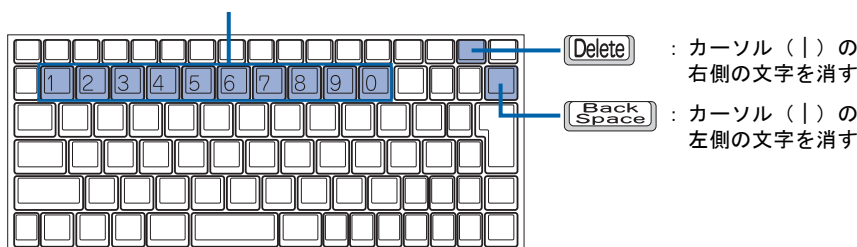
30 「市外局番」の下空欄にマウスを合わせ、Iに変わったらクリックします。 クリックすると文字を入力するためのカーソル（|）が点滅して表示されます。



31 パソコンをお使いになる場所の市外局番を入力します。



数字キーで入力します。



POINT

数字が入力できない場合

市外局番の欄にカーソル（|）が点滅していることを確認してください。
カーソル（|）がない場合は、入力したい欄をクリックしてカーソルを表示させます。

文字を消したい場合

カーソル（|）の左側の1文字を消すには： **Back Space** を押します。
カーソル（|）の右側の1文字を消すには： **Delete** を押します。

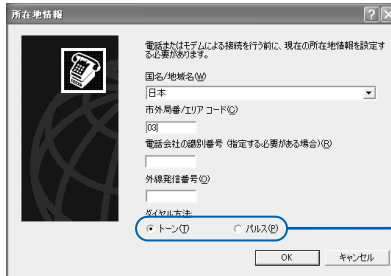
「入力した文字が無効です」と表示された場合

画面右下が **Alt** になっていない場合は、**Enter** を押します。

市外局番を入力せずに「OK」をクリックしてしまった場合

「電話とモデムのオプション」という画面が表示されます。「編集」をクリックし、市外局番を入力した後、次の手順に進んでください。手順 33 までは画面が異なりますが、手順に従って、該当する項目を操作してください。

32 ダイヤル方法を設定します。



インターネットなどに使う電話回線のダイヤル方法を設定します。詳しくは、次の POINT をご覧ください。

回線の種類がわからない場合は、「トーン」をクリックしてください。

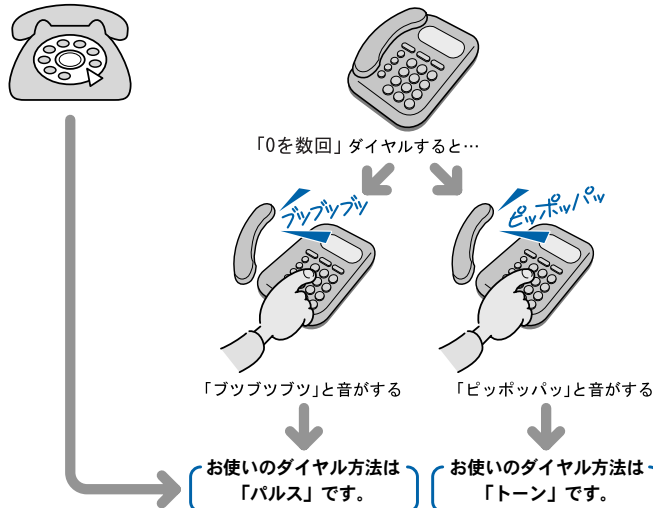
POINT

一般の電話回線を使う場合

ダイヤル方法は次の方法で確認します。

ダイヤル式電話機をお使いの場合

プッシュ式電話機をお使いの場合



ISDN 回線や携帯電話／PHS をお使いになる場合

ダイヤル方法は、「トーン」です。

どうしても電話回線のダイヤル方法がわからない場合

ご契約の電話会社に直接お問い合わせください。

なお、次のサービスをお使いの場合はうまく通信できないことがあります。

- ・ ホームテレホン
- ・ キャッチホン
- ・ ビジネスホン

設定した市外局番や電話回線のダイヤル方法を変えたい場合

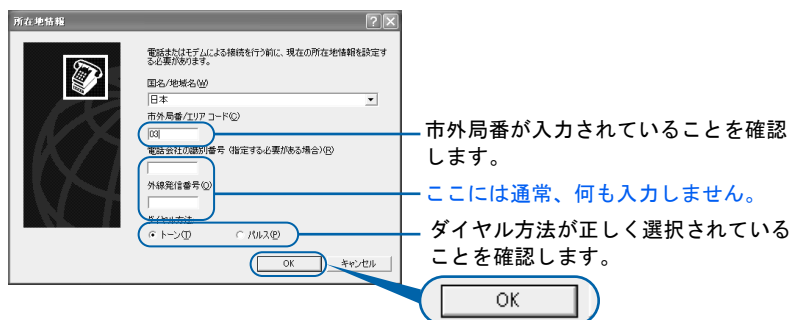
引っ越しなどで後から市外局番やダイヤル方法の設定を変えたいときは、次のように設定し直します。

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「プリンタとその他のハードウェア」→「電話とモデムのオプション」の順にクリックします。
3. 「ダイヤル情報」タブの設定を変更します。
4. 「OK」をクリックします。
5. 「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウの をクリックします。

電源を切らずに次のページへ

33 正しく入力できているか確認し、「OK」をクリックします。

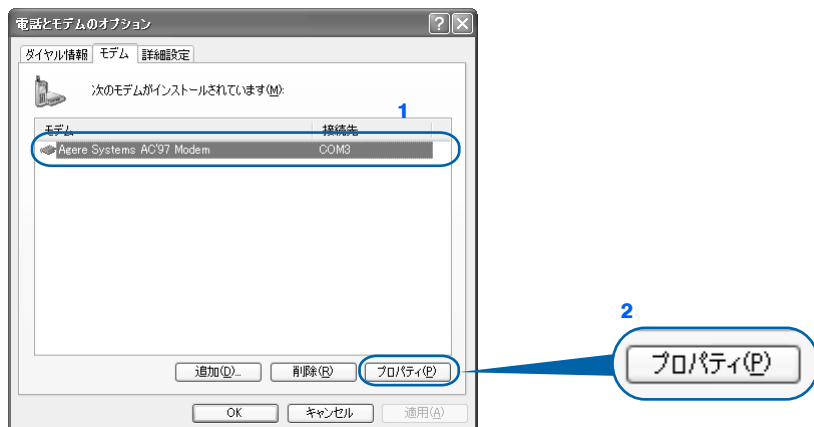
正しく入力されていないと、インターネットに接続できません。



34 「モデム」タブをクリックします。

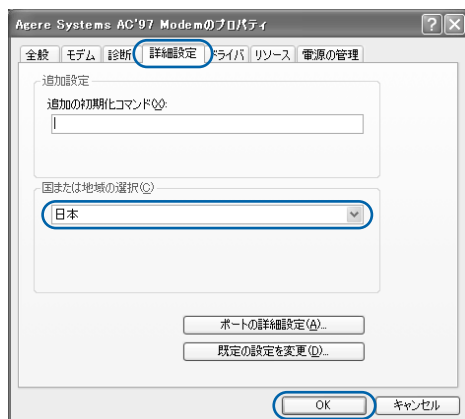


35 1 「Agere Systems AC'97 Modem」をクリックし、2 「プロパティ」をクリックします。

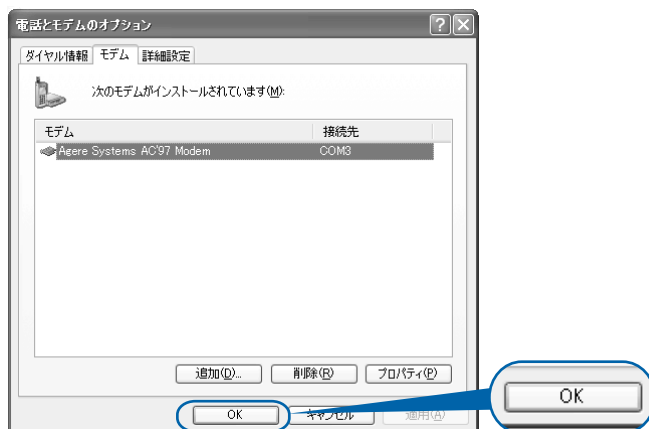


36 1「詳細設定」タブをクリックし、2「国または地域の選択」で、「日本」が表示されていることを確認し、3「OK」をクリックします。

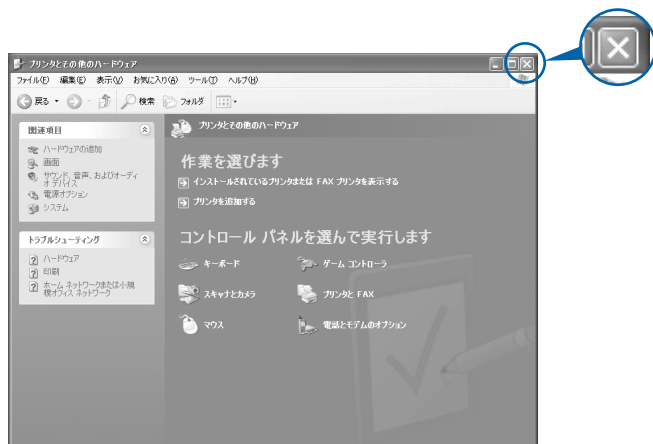
「日本」が表示されていない場合は▼をクリックし、「日本」を選択します。



37 「OK」をクリックします。



38 「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウの✕をクリックします。



電源を切らずに次のページへ

これで Windows のセットアップは終わりです。

POINT

アプリケーションを起動するには

アプリケーションは、@メニューから起動してください（@メニューには、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」から起動できないアプリケーションも登録されています）。

詳しくは、『使いはじめガイド』→「FMV を使いはじめる前に知っておこう」→「パソコンでやってみたいことを「@メニュー」で調べる」をご覧ください。

続いて、電源の切り方と入れ方を覚えましょう（..▶P.47）。

2 電源の切り方と入れ方

電源の切り方と入れ方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。



注意



け が

- ・ CD や DVD を取り出す場合は、CD/DVD ドライブのトレイに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。

3

電源を切る

必ず、次の手順で Windows の終了処理を行ってください。Windows の終了処理を行うと、自動的に電源が切れます。

1 それまで行っていた作業を終了します。

アプリケーションを起動している場合は、作業中のデータを保存し、アプリケーションを終了します。

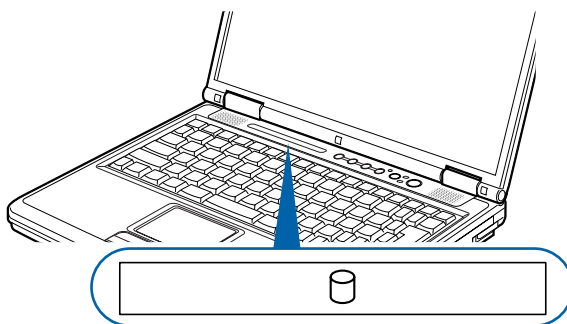
例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

POINT

アプリケーションを終了しなかった場合

アプリケーションを起動したままこれ以降の操作を進めると、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤操作の原因となるので、あらかじめアプリケーションを終了してください。

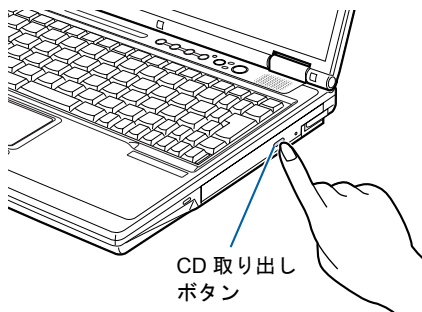
2 状態表示 LCD の などが点灯していないことを確認します。



状態表示 LCD

次のページへ

3 CD、DVD がセットされていたら取り出します。



POINT

CD や DVD を入れたままだと

パソコンの電源を切ってしまうと、CD や DVD は取り出せません。

4 「スタート」 ボタンをクリックします。

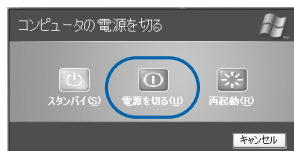


(これ以降の画面は、機種や状況により異なります)

5 「終了オプション」をクリックします。



6 「電源を切る」をクリックします。



しばらくすると Windows が終了し、パソコンの電源が自動的に切れます（画像が暗くなり、状態表示 LCD の ① が消えます）。

3

POINT

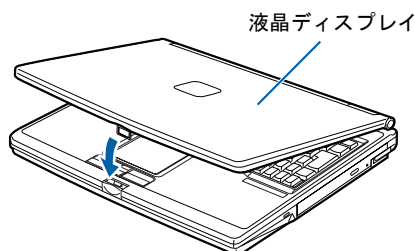
電源が切れない場合

パソコンが動かなくなり（フラットポイントやキーボードが操作できないなど）、電源が切れないときは、次のように操作してください。

[Ctrl] と **[Alt]** を押しながら **[Delete]** を押してアプリケーションを強制終了し、その後で電源を切ってください。アプリケーションの強制終了については、『トラブル解決ガイド』→「Q&A 集」→「画面の表示がおかしい、操作ができないトラブル」→「Q 操作中に画面が動かなくなった」をご覧ください。

強制終了もできないときは、パソコン本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して、強制的に電源を切ってください。

7 液晶ディスプレイを閉じます。



重要

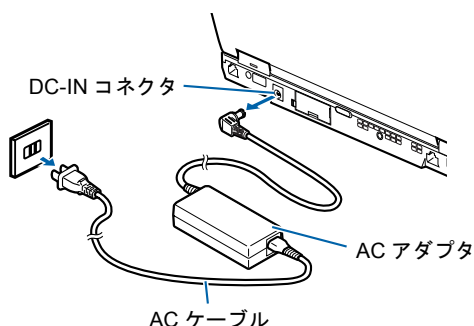
液晶ディスプレイは静かに閉じてください

閉じるときに液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。

次のページへ

AC アダプタの取り外しについて

パソコン本体を持ち運ぶときや、周辺機器の取り付け・取り外しをするとき、パソコンを長時間使わないときは、必ず、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜き、AC アダプタを DC-IN コネクタから取り外します。



パソコン使用中に AC アダプタを取り外すときの注意

パソコンを使っている途中で AC アダプタを取り外し、バッテリーでパソコンを使うときは、バッテリーが充電されているか確認してください。特にご購入時にはバッテリーが充電されていない場合がありますので、ご注意ください。

確認方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「バッテリーで使う」→「バッテリー残量を確認する」をご覧ください。

パソコンを使っていないときにバッテリーを充電するには

パソコンを使っていないときにバッテリーを充電するには、電源を切った後、AC アダプタを取り付けたままにしてください。

続いて、電源の入れ方を覚えましょう (▶▶P.51)。

電源を入れる

重要

電源を入れるときの注意

- ・電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。
- ・パソコンを長時間お使いになる場合は、バッテリー切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。

バッテリーで使うときの注意

以下の場合、バッテリーが充電されていないことがあります。バッテリー残量を確認し、必要に応じてバッテリーを充電してください。

- ・パソコンをご購入のとき
- ・約 1 ヶ月以上充電していないとき

バッテリー残量の確認方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「バッテリーで使う」をご覧ください。

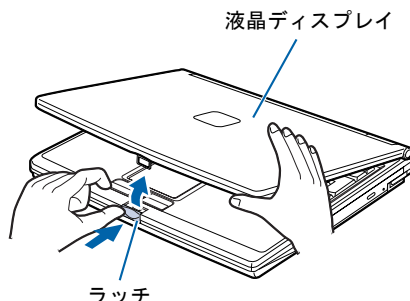
電源が入っているときは、こんな使い方はしないでください (放熱が妨げられます)

「電源オプションのプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブで「ポータブルコンピュータを閉じたとき」を「何もしない」に設定した場合は、パソコンの液晶ディスプレイを閉じないでください。

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「各種設定」→「省電力機能を設定する」をご覧ください。

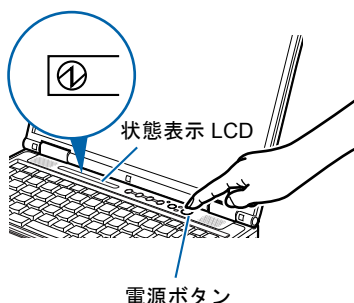
1 液晶ディスプレイを開きます。

ラッチを押してロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

2 電源ボタンを押します。



状態表示 LCD に ① が表示されます。そのまま、しばらくお待ちください。

次のページへ



電源ボタンは短く押してください

電源ボタンは、4 秒以上押し続けると通常とは違う特別な働きをします（パソコンの電源が切れるので、作成中のデータが失われることがあります）。

3 このような画面が表示されたことを確認します。



（画面は機種や状況により異なります）

POINT

Windows が起動しない場合

バッテリー残量が少ないと電源を入れても Windows が起動しないことがあります。次の点を確認してください。

- ・ AC アダプタを取り付けているとき
AC アダプタが正しく取り付けられているかを確認してください。
「AC アダプタを接続する」（●▶P.24）
- ・ バッテリーで使うとき
バッテリーの残量が十分にあるかを確認し、足りなければ AC アダプタを取り付けてください。

以上の点を確認しても Windows が起動しない場合は、『トラブル解決ガイド』→「Q & A 集」→「電源が入らない、画面が表示できないトラブル」をご覧ください。

3 準備が完了したら

ここまでの作業が終わると、パソコンの準備は完了です。

パソコンの準備はすべて完了していますか？

3

これまで説明してきたパソコンの準備が、すべて完了しているか確認してください。再確認したい項目や、完了していない操作については、各参照先に戻って再度確認または操作してください。

1 「機種名を確認してください」 (▶P.18)

お使いの機種によってマニュアルの読み方が異なります。

2 「使用上のお願い」 (▶P.19)

このパソコンの取り扱いにあたっての、大切な注意事項です。確認してください。

3 「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」 (▶P.26)

初めて電源を入れたときに行う操作です。すべての操作を終えているか、確認してください。

4 「電源の切り方と入れ方」 (▶P.47)

必ずこのマニュアルの手順に従って操作してください。

パソコンの準備が完了したら📖『使いはじめガイド』へ

パソコンの準備が完了したら📖『使いはじめガイド』をお読みください。このパソコンを使うための重要な情報や、インターネットの始め方などが紹介されています。

『使いはじめガイド』で紹介されている主な情報

画面上のボタンについて (ユーザー登録や @nifty など)	第1章「FMV を使いはじめる前に知っておこう」
ご購入時に「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」に登録されていないアプリケーションの起動方法	
大切なデータやパソコンを守る	
知りたい情報をマニュアルで調べる	第2章「マニュアルやサポートを使いこなそう」
「パソコン入門」で基本的な使い方を覚える	
アプリケーションの使い方を調べる	
通信の回線を接続する	第3章「パソコンで通信をする準備」
ユーザー登録をする	第4章「ユーザー登録をする」
インターネットを始める (プロバイダに入会する)	第5章「インターネットの始め方」
ホームページの上手な見かた	第6章「ホームページを見る」
Eメールを使う	第7章「Eメールを使う」
パソコンをリサイクルする	第8章「パソコンの廃棄・リサイクルについて」

ユーザー登録をする

POINT

ユーザー登録とは

ユーザー登録とは、FMV のユーザーとしてお客様の情報を弊社に登録していただくことを言います。ユーザー登録をしていただくと、さまざまなサービスをご利用いただけます。

このパソコンでは、パソコンの画面上でユーザー登録ができます。

ユーザー登録の詳しい操作手順については、📖『使いはじめガイド』→「ユーザー登録をする」をご覧ください。

パソコンの基本的な使い方を覚える

「パソコンを使うのは初めて」という方は、「パソコン入門」でパソコンの基本的な使い方を覚えましょう。「パソコン入門」では、文字の入力方法や Windows の操作方法など、パソコンを使う上で必要なことを楽しく練習しながら覚えることができます。

「パソコン入門」の詳しい操作方法については、📖『使いはじめガイド』→「マニュアルやサポートを使いこなそう」をご覧ください。

この後の章では、周辺機器の接続／設定 (●▶P.56) や、仕様一覧 (●▶P.64) が記載されています。目的に合わせてお読みください。

4

第 4 章

目的に合わせて接続／設定する

「周辺機器を取り付けたい」など、目的に合わせてお読みください。

1 周辺機器（メモリなど）を取り付ける	56
2 モジュラーケーブルを接続する	59

1 周辺機器（メモリなど）を取り付ける

ここでは、メモリなどの周辺機器を取り付ける前に知っておいていただきたいことを説明しています。

POINT

周辺機器とは

プリンタ、デジタルカメラ、メモリなどの装置のことです。パソコンの各種コネクタに接続したり、パソコン本体内部に取り付けたりして、パソコンの機能を拡張したり、処理速度を高めたりできます。



- ・ 周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を入れたまま、または電源プラグを接続したままだと、感電・火災または故障の原因となります。



- ・ 周辺機器のケーブルは正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。
- ・ 周辺機器、および周辺機器のケーブルは、弊社純正品をお使いください。純正品以外の周辺機器、および周辺機器のケーブルをお使いになると、故障の原因となることがあります。

取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

・ 周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします

純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。

純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。

・ Windows のセットアップは終了していますか？

「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」(▶▶P.26) をご覧になり、Windows のセットアップを行ってください。

なお、セットアップを行うときは周辺機器を取り付けしないでください。セットアップが正常に行われないおそれがあります。

「FMV の使い方」をご覧ください

周辺機器の取り付け方は、「FMV の使い方」に記載されています。お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

「FMV の使い方」は次の手順でご覧いただけます。

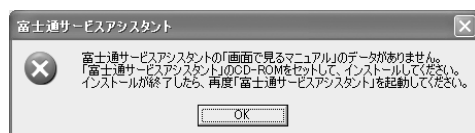
1 ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A」ボタン（▶P.16）を押します。

POINT

「画面で見るマニュアル」のデータがありません」というメッセージが表示されたときは

「画面で見るマニュアル」を添付ディスク⑤「富士通サービスアシスタント」からインストールしてください。

⑤「富士通サービスアシスタント」をセットすると、自動的にインストールが始まります。メッセージに従って、インストールしてください。

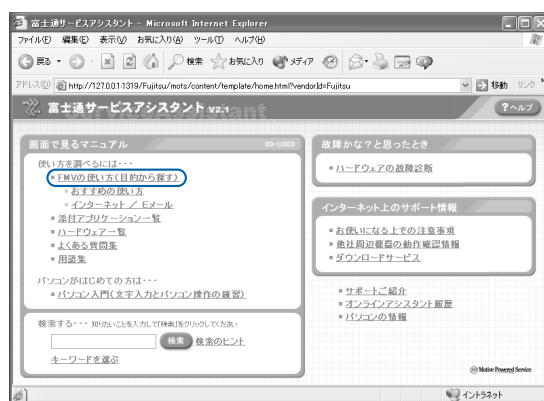


初めて起動すると

初めてサービスアシスタントを起動したときは「インターネット接続ウィザード」が表示されます。P.39 ～ の手順 24 ～ 26 をご覧になり、操作を行ってください。

サービスアシスタントが起動します。

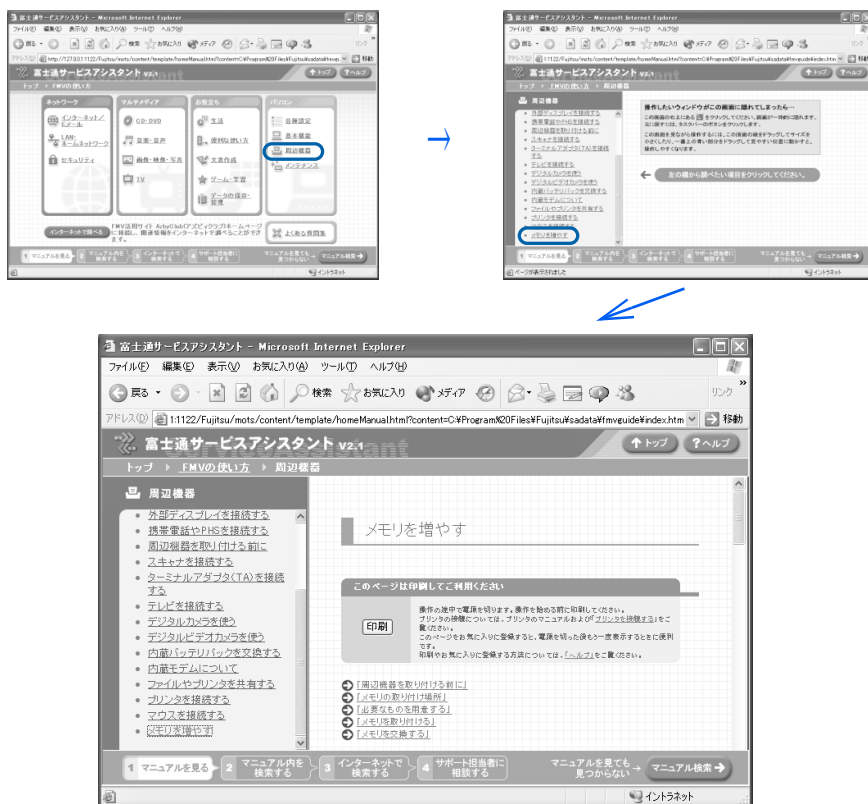
2 「FMV の使い方」をクリックします。



(これ以降の画面は、機種や状況により異なります)

3 「周辺機器」をクリックして、取り付けたい周辺機器を選択します。

例えば、メモリを増やす場合は、「周辺機器」→「メモリを増やす」の順にクリックします。



POINT

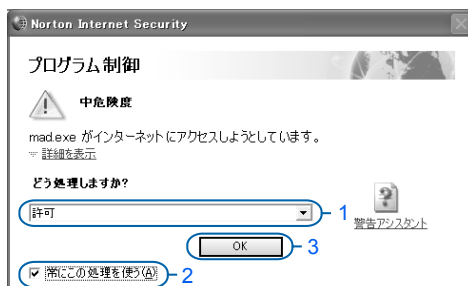
周辺機器によっては、印刷してご覧いただくものがあります

操作の途中で電源を切る必要のある周辺機器については、「FMV の使い方」の該当ページの先頭に「このページは印刷してご利用ください」と記載されています。操作を始める前に「FMV の使い方」をプリンタで印刷してご覧ください。

「mad.exe がインターネットにアクセスしようとしています。」というメッセージが表示された場合

このウィンドウは、「Norton Internet Security」というアプリケーションの設定画面です。次の設定を行ってください。

1. 「許可」をクリックし、「許可」をクリックします。
2. 「常にこの処理を使う」をクリックして「☒」にします。
3. 「OK」をクリックします。



2 モジュラーケーブルを接続する

ここでは、モジュラーケーブルを接続する方法を紹介します。

モデム名

このパソコンの内蔵モデムは「Agere Systems AC'97 Modem」です。画面上でモデム名を選ぶ際は、このモデムを選んでください。

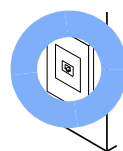
確認する

■ 電話回線の差し込み口

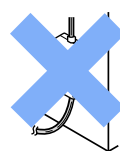
ローゼット式の場合は、モジュラー式の差し込み口への変更が必要です。

変更作業は、工事担任者またはその監督の下で行ってください。最寄りのNTTの営業所または支店へ変更工事を依頼することもできます。

モジュラー式



ローゼット式



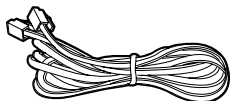
■ 通信回線の種類

接続する前に、通信回線が一般の電話回線（アナログ）であることをNTTに確認してください。

必要なものを用意する

次のものを用意してください。

■ モジュラーケーブル（電話線）



電話回線を接続する



感電

- ・ 近くで落雷のおそれがある場合は、すべての接続作業を中止してください。落雷による感電の恐れがあります。



感電

- ・ 電話回線の差し込み口（モジュラージャック）に指などを入れないでください。感電の原因となることがあります。



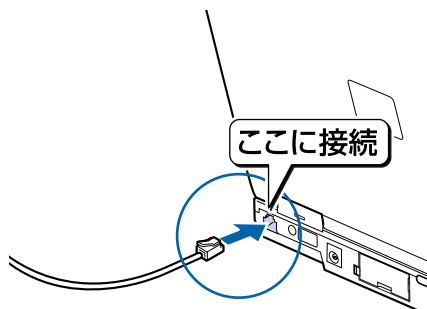
故障

- ・ モジュラーケーブルを接続する場合は、必ずモデムコネクタに接続してください。別のコネクタに接続すると故障の原因となることがあります。

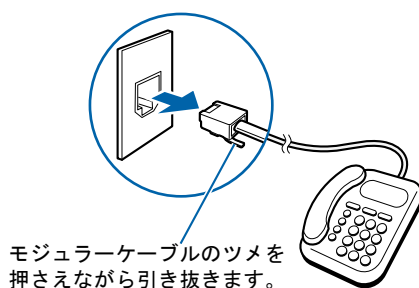
次の方法で添付のモジュラーケーブル（電話線）をパソコン本体に接続します。

1 添付のモジュラーケーブルを、パソコン本体背面にあるモデムコネクタに差し込みます。

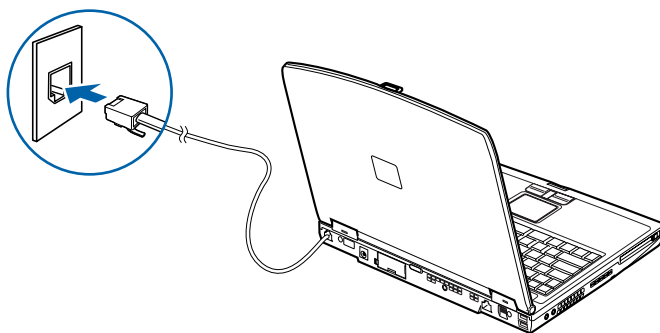
コネクタの向きに注意して、カチッと音がするまで差し込んでください。



2 お使いになっている電話機のモジュラーケーブルを、電話回線の差し込み口から外します。



3 モジュラーケーブルを、電話回線の差し込み口に接続します。
パソコン本体に接続したモジュラーケーブルの反対側を差し込みます。



 POINT**インターネットをしている間は電話が使えません**

インターネットをしている間は、電話機のモジュラーケーブルを取り外しているため、電話機が使えません。インターネットが終わったら、忘れずにモジュラーケーブルを差し替えてください。

キャッチホンを設定している場合

キャッチホンを設定している場合は、インターネットをしている間に電話がかかってくると、通信が切断されることがあります。

モジュラーケーブル使用上の注意

- ・モジュラーケーブルは家電製品などの近くを経由させたり束ねて利用したりすると、うまく通信できないことがあります。
- ・パソコンの設置場所が電話回線の差し込み口から遠く、添付のモジュラーケーブルでは長さが足りない場合、市販品をご購入ください。ただし、モジュラーケーブルを長くすると、回線速度が低下したり、うまく通信できないことがあります。

インターネットについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「インターネット／Eメール」をご覧ください。

5

第 5 章 付 録

1 仕様一覧	64
--------------	----

1 仕様一覧

パソコン本体

製品名称		FMV-BIBLO MG13D (※ 1)	FMV-BIBLO MG17D/A (※ 1)	FMV-BIBLO MG12D (※ 1)
CPU (※ 2)		インテル® Pentium® M プロセッサ 1.3GHz	低電圧版モバイル AMD Athlon™ XP-M プロセッサ 1700+ (※ 23)	モバイルインテル® Celeron® プロセッサ 1.26GHz
キャッシュメモリ		1 次 : 64KB +2 次 : 1024KB (CPU 内蔵)	1 次 : 128KB +2 次 : 256KB (CPU 内蔵)	1 次 : 32KB +2 次 : 256KB (CPU 内蔵)
チップセット		インテル® 855GM チップセット	ATI® RADEON™ IGP 320M/ALi M1535+ チップセット	インテル® 830MG チップセット
システムバスクロック		400MHz	266MHz	133MHz
メインメモリ		標準 256MB (PC2100 DDR SDRAM) ECC なし 最大 1GB (※ 3)		標準 256MB (PC133 SDRAM) ECC なし 最大 1GB (※ 3)
拡張メモリスロット		× 2 (空きスロット× 1)		
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵		
	ビデオメモリ	最大 64MB (メインメモリと共用) (※ 4)	標準 32MB/ 最大 128MB (メインメモリと共用) (※ 20)	最大 48MB (メインメモリと共用) (※ 4)
	液晶ディスプレイ (※ 5)	高輝度 13.3 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット (スーパーファイン)		
	解像度／発色数	液晶ディスプレイ表示 : 1024 × 768 ドット／ 1677 万色 (※ 6) 外部ディスプレイ表示 : 最大 1600 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示 : 1024 × 768 ドット／ 1677 万色 (※ 6)		
フロッピーディスクドライブ (※ 7)		FDD ユニット (USB) (別売)	FDD ユニット (USB) (添付) (※ 8)	
ハードディスクドライブ (※ 9)		60GB (Ultra ATA/100)	40GB (Ultra ATA/100)	40GB (Ultra ATA/100)
CD/DVD ドライブ		DVD マルチドライブ (※ 10) (※ 11)	CD-RW/DVD-ROM ドライブ (※ 10) (※ 11)	
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック		
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビット ステレオ、同時録音再生対応		
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート		
	スピーカー	ステレオスピーカー内蔵		
キーボード		OADG 配列準拠 87 キー (Windows キー、アプリケーションキー付)		
ポインティングデバイス		フラットポイント、スクロールボタン		
ワンタッチボタン		プログラマブル× 4 (モード切り替えボタン付)		
通信機能	モデム	データ : 最大 56kbps (V.90 準拠) (※ 12) / FAX : 14.4kbps		
	LAN	100BASE-TX / 10BASE-T 準拠		
	ワイヤレス LAN	IEEE802.11b 準拠 (Wi-Fi 準拠) (※ 13)		－

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の※印について」 (●▶P.68)

製品名称		FMV-BIBLO MG13D (※ 1)	FMV-BIBLO MG17D/A (※ 1)	FMV-BIBLO MG12D (※ 1)
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 1 スロット (CardBus 対応)		
	SD カード (※ 14)	1 スロット		
	外部ディスプレイ／ビデオ出力	アナログ RGB Mini D-SUB 15 ピン×1 / S 端子変換ケーブル [FMV-NCBL2] (別売) S ビデオ (NTSC) × 1		
	USB (※ 15)	USB2.0 準拠×2		
	IEEE1394	4 ピン×1 (S400)		
	モデム	RJ-11 × 1		
	LAN	RJ-45 × 1		
	オーディオ	ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック／ 光デジタルオーディオ出力：丸形・光ミニジャック、 マイク：φ3.5mm モノラル・ミニジャック		
	状態表示	モノクロ液晶、アイコン表示		
モバイルマルチベイ		× 1 (専用コネクタ)		
電源供給方式	ACアダプタ	ACアダプタ入力 AC100V～240V、出力 DC16V (3.75A)		
	バッテリー	内蔵バッテリーパック：リチウムイオン、10.8V／4000mAh、 増設バッテリー (別売)：リチウムイオン、10.8V／3400mAh		
バッテリー稼働時間 (JEITA 測定法 1.0 (※ 16))		約 4.5 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 8.2 時間 (内蔵バッテリー パック+増設バッテリー)	約 3.1 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 5.7 時間 (内蔵バッテリー パック+増設バッテリー)	約 2.8 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 5.2 時間 (内蔵バッテリー パック+増設バッテリー)
バッテリー充電時間 (※ 17)		約 4 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 6.5 時間 (内蔵バッテリーパック+増設バッテリー)		
消費電力 (※ 18)		約 17W／約 61W	約 20W／約 65W	約 23W／約 67W
省エネ法に基づく エネルギー消費効率 (※ 19)		S 区分 0.00033	S 区分 0.00022	S 区分 0.00034
外形寸法		W293.0 × D236.5 × H31.5 ～ 32.0 mm (突起部含まず)		W293.0 × D236.5 × H29.5 ～ 31.5 mm (突起部含まず)
質量		約 1.75kg (モバイルマルチ ベイ用カバー搭載時) 約 1.97kg (内蔵 DVD マルチドライブユニット 搭載時の場合)	約 1.75kg (モバイルマルチ ベイ用カバー搭載時) 約 1.96kg (内蔵 CD-RW/ DVD-ROM ドライブ ユニット搭載時の場合)	約 1.7kg (モバイルマルチ ベイ用カバー搭載時) 約 1.91kg (内蔵 CD-RW/ DVD-ROM ドライブ ユニット搭載時の場合)
盗難防止用ロック		あり		
温湿度条件		温度 5 ～ 35℃／湿度 20 ～ 80%RH (動作時)、 温度 -10 ～ 60℃／湿度 20 ～ 80%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)		
プレインストール OS		Windows XP Professional SP1a (DirectX 9.0 対応)	Windows XP Home Edition SP1a (DirectX 9.0 対応)	
サポート OS		Windows XP Home Edition SP1a、Windows XP Professional SP1a		

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の※印について」(●▶P.68)

製品名称		FMV-BIBLO MG13DN (※ 1)	FMV-BIBLO MG12DN (※ 1)
CPU (※ 2)		インテル® Pentium® M プロセッサ 1.3GHz	モバイルインテル® Celeron® プロセッサ 1.26GHz
キャッシュメモリ		1 次 : 64KB +2 次 : 1024KB (CPU 内蔵)	1 次 : 32KB +2 次 : 256KB (CPU 内蔵)
チップセット		インテル® 855GM チップセット	インテル® 830MG チップセット
システムバスクロック		400MHz	133MHz
メインメモリ		標準 256MB (PC2100 DDR SDRAM) ECC なし 最大 1GB (※ 3) (※ 21)	標準 256MB (PC133 SDRAM) ECC なし 最大 1GB (※ 3)
拡張メモリスロット		× 2 (空きスロット × 1)	
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵	
	ビデオメモリ	最大 64MB (メインメモリと共用) (※ 4)	最大 48MB (メインメモリと共用) (※ 4)
	液晶ディスプレイ (※ 5)	高輝度 13.3 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット (スーパーファイン)	
	解像度/発色数	液晶ディスプレイ表示 : 1024 × 768 ドット / 1677 万色 (※ 6) 外部ディスプレイ表示 : 最大 1600 × 1200 ドット / 最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示 : 1024 × 768 ドット / 1677 万色 (※ 6)	
フロッピーディスクドライブ (※ 7)		FDD ユニット (USB) (別売)	FDD ユニット (USB) (添付) (※ 8)
ハードディスクドライブ (※ 9)		40GB (Ultra ATA/100) (※ 22)	40GB (Ultra ATA/100)
CD/DVD ドライブ		DVD マルチドライブまたは CD-RW/DVD-ROM ドライブ (※ 10) (※ 11)	CD-RW/DVD-ROM ドライブ (※ 10) (※ 11)
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック	
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビット ステレオ、同時録音再生対応	
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート	
	スピーカー	ステレオスピーカー内蔵	
キーボード		OADG 配列準拠 87 キー (Windows キー、アプリケーションキー付)	
ポインティングデバイス		フラットポイント、スクロールボタン	
ワンタッチボタン		プログラマブル × 4 (モード切り替えボタン付)	
通信機能	モデム	データ : 最大 56kbps (V.90 準拠) (※ 12) / FAX : 14.4kbps	
	LAN	100BASE-TX / 10BASE-T 準拠	
	ワイヤレス LAN	IEEE802.11b 準拠 (Wi-Fi 準拠) (※ 13)	—
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 1 スロット (CardBus 対応)	
	SD カード (※ 14)	1 スロット	
	外部ディスプレイ/ ビデオ出力	アナログ RGB Mini D-SUB 15 ピン × 1 / S 端子変換ケーブル [FMV-NCBL2] (別売) S ビデオ (NTSC) × 1	
	USB (※ 15)	USB2.0 準拠 × 2	
	IEEE1394	4 ピン × 1 (S400)	
	モデム	RJ-11 × 1	
	LAN	RJ-45 × 1	
	オーディオ	ヘッドホン : φ3.5mm ステレオ・ミニジャック / 光デジタルオーディオ出力 : 丸形・光ミニジャック、 マイク : φ3.5mm モノラル・ミニジャック	
	状態表示	モノクロ液晶、アイコン表示	
	モバイルマルチバイ	× 1 (専用コネクタ)	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の※印について」(●▶P.68)

製品名称		FMV-BIBLO MG13DN (※ 1)	FMV-BIBLO MG12DN (※ 1)
電源供給方式	AC アダプタ	AC アダプタ入力 AC100V ～ 240V、出力 DC16V (3.75A)	
	バッテリー	内蔵バッテリーパック：リチウムイオン、10.8V / 4000mAh、 増設バッテリー（別売）：リチウムイオン、10.8V / 3400mAh	
バッテリー稼働時間 (JEITA 測定法 1.0 (※ 16))		約 4.5 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 8.2 時間 (内蔵バッテリーパック + 増設バッテリー)	約 2.8 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 5.2 時間 (内蔵バッテリーパック + 増設バッテリー)
バッテリー充電時間 (※ 17)		約 4 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 6.5 時間 (内蔵バッテリーパック + 増設バッテリー)	
消費電力 (※ 18)		約 17W / 約 61W	約 23W / 約 67W
省エネ法に基づく エネルギー消費効率 (※ 19)		S 区分 0.00033	S 区分 0.00034
外形寸法		W293.0 × D236.5 × H31.5 ～ 32.0 mm (突起部含まず)	W293.0 × D236.5 × H29.5 ～ 31.5 mm (突起部含まず)
質量		約 1.75kg (モバイルマルチベイ用カバー搭載時) 約 1.97kg (内蔵 DVD マルチドライブユニット 搭載時の場合)	約 1.7kg (モバイルマルチベイ用カバー搭載時) 約 1.91kg (内蔵 CD-RW/DVD-ROM ドライブユニット搭載時の場合)
盗難防止用ロック		あり	
温湿度条件		温度 5 ～ 35 ℃ / 湿度 20 ～ 80%RH (動作時)、 温度 -10 ～ 60 ℃ / 湿度 20 ～ 80%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)	
プレインストール OS		Windows XP Professional SP1a (DirectX 9.0 対応) または Windows XP Home Edition SP1a (DirectX 9.0 対応)	Windows XP Home Edition SP1a (DirectX 9.0 対応)
サポート OS		Windows XP Home Edition SP1a、Windows XP Professional SP1a	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の※印について」(●▶P.68)

仕様一覧の※印について

- ※1 本パソコンの技術基準適合認証番号は、A02-0575JP、D03-0025JPA です。
- ※2 アプリケーションによっては CPU 名表記が異なることがあります。
- ※3 1GB のメモリ容量にするには、搭載済みのメモリをすべて取り外し、拡張 RAM モジュール 512MB を 2 枚取り付ける必要があります (MG13DN でご購入時に 512MB を選択した場合を除く)。
- ※4 Intel® Dynamic Video Memory Technology (DVMT) により、パソコンの動作状態によって VRAM 容量が変化します。
- ※5 以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面上の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。
 - ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。なお、低輝度で長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になることがあります。
- ※6 液晶ディスプレイでは、ディザリング機能 (擬似的に色を表示する機能) によって、1677 万色で表示されます。
- ※7 フロッピーディスクは、フォーマットした環境 (メーカー、機種、ソフトウェア) によっては、データを読み書きできない場合があります。対応メディアは、2HD (1.44MB, 1.2MB) と 2DD (720KB) です。なお、1.44MB 以外のフォーマットはできません。
- ※8 MG12D、MG12DN の場合、FDD ユニットの (USB) にセットしたフロッピーディスクからは起動できません。
- ※9 容量は、1MB=1000²byte、1GB=1000³byte 換算値です。
- ※10 モバイルマルチペイに搭載しています。
各ドライブの主な仕様は次の通りです。

DVD マルチドライブ	CD-ROM 読出: 最大 24 倍速、CD-R 書込: 最大 16 倍速、 CD-RW 書込書換: 最大 8 倍速、DVD-ROM 読出: 最大 8 倍速、 DVD-RAM 書込書換: 最大 2 倍速、DVD-R 書込: 最大 2 倍速、 DVD-RW 書込書換: 最大 1 倍速
CD-RW/DVD-ROM ドライブ	CD-ROM 読出: 最大 24 倍速、CD-R 書込: 最大 24 倍速、 CD-RW 書込書換: 最大 10 倍速、DVD-ROM 読出: 最大 8 倍速

- ※11 オプションで「増設用内蔵バッテリーユニット」を装着可能です。
- ※12 56000bps は V.90 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。V.90 の 33600bps を超える通信速度は受信時のみで、送信時は 33600bps が最高速度となります。また、日本国内の一般公衆回線、あるいは構内交換機経由での通信においては同規格での通信が行えない場合があります。
- ※13 Wi-Fi 準拠とは、ワイヤレス LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示しています。
- ※14 著作権保護機能には対応していません。
- ※15 すべての USB 対応周辺機器について動作保証するものではありません。
- ※16 社団法人電子情報技術産業協会の『JEITA バッテリー動作時間測定法 (Ver1.0)』 (<http://it.jeita.or.jp/mobile/index.html>)。なお、本体のみ、省電力制御あり、満充電の場合。ただし、実際の稼働時間は使用条件により異なります。
- ※17 電源 OFF またはスタンバイ時。なお、装置の動作状況により充電時間が長くなることがあります。
- ※18 ・動作時の最小消費電力 (Windows 起動直後の消費電力) / 最大消費電力です。また、AC アダプタ運用時の消費電力です。
・電源 OFF 時の消費電力は、約 1W 以下 (満充電時) です。なお、電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※19 スタンバイ時 (充電なし。AC アダプタを含む)。なお、エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- ※20 BIOS セットアップで 16MB/32MB/64MB/128MB から選択できます。
- ※21 ご購入時の選択によっては、512MB の場合もあります。
- ※22 ご購入時の選択によっては、60GB の場合もあります。
- ※23 QuantiSpeed™ アーキテクチャーにより、1.467GHz 動作で従来の設計に基づく 1.7GHz プロセッサの性能に匹敵あるいは上回る性能を実現しています。



索引

A

AC アダプタ	21
ー接続する	24
ー表示	15
AC ケーブル	21
「Application」モード	16
A ボタン	16

B

B ボタン	16
-------	----

C

Caps Lock 表示	15
CD-RW ドライブ	12
CD アクセス表示	15
CD 取り出しボタン	12

D

DC-IN コネクタ	13
DVD-ROM ドライブ	12

E

E-mail ボタン	16
------------	----

F

FMV の使い方	40, 57
----------	--------

I

IEEE1394 (DV) 端子	13
Internet ボタン	16

L

LAN コネクタ	13
----------	----

N

Num Lock 表示	15
-------------	----

P

PC カード	
ーアクセス表示	15
ースロット	12
PC カード取り出しボタン	12
「Player」モード	16

S

Scroll Lock 表示	15
SD カードスロット	10
SUS/RES 表示	15

S ビデオ端子	13
---------	----

U

USB コネクタ	13
----------	----

W

Windows	26
ー使用許諾契約書	30
ーセットアップ	26

あ行

アプリケーション	
ー起動する	46
液晶ディスプレイ	10

か行

カーソル	42
外部ディスプレイコネクタ	13
拡張 RAM モジュールスロット	14
各部名称	9
ー状態表示 LCD	15
ーパソコン本体下面	14
ーパソコン本体上面	11
ーパソコン本体前面	10
ーパソコン本体側面	12
ーパソコン本体背面	13
ーワンタッチボタン	16
キーボード	10
機種名	18
吸気孔	12, 13
クリック	28

さ行

サービスアシスタント	38, 57
周辺機器を取り付ける	56
仕様	
ーパソコン本体	64
状態表示 LCD	10, 15
スピーカー	10
セットアップ	26

た行

ダイヤル方法	43
デジタルカメラ	56
電源	
ー入れる	24, 51
ー切る	47
ー切れない場合	49
電源ボタン	10

電話回線	
－種類	43
－接続	59
電話線	59
盗難防止用ロック	12
トーン	43

な行

内蔵バッテリーパック	14
------------	----

は行

ハードディスクアクセス表示	15
排気孔	12
初めて電源を入れる	26
バッテリー	
－残量表示	15
－充電表示	15
－装着表示	15
－使うときの注意	51
パルス	43
光デジタルオーディオ出力端子	12
ビデオ出力端子	13
品名	18
フラットポイント	10
プリンタ	56
ベイユニット取り外しレバー	12
ヘッドホン端子	12
保証書	21, 35

ま行

マイク端子	12
マウスポインタ	42
メール着信ランプ	16
メモリ	56
モードボタン	16
モジュラーケーブル	59
モデム	59
モデムコネクタ	13
モバイルマルチベイ	12

ら行

ラッチ	10
-----	----

わ行

ワイヤレス LAN アンテナ	11
ワイヤレススイッチ	13
ワンタッチボタン	10, 16

FMV-BIBLO MG13D, MG17D/A, MG12D, MG13DN, MG12DN

パソコンの準備

B5FH-8401-01-00

発行日 2003年5月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

